

平成30年度第5回定例
松本市教育委員会会議録

松本市教育委員会

平成30年度第5回定例松本市教育委員会会議録

平成30年度第5回定例松本市教育委員会が平成30年8月30日午後3時50分芳川公民館に招集された。

平成30年8月30日（木）

議 事 日 程

平成30年8月30日午後3時50分開議

第1 開 会

第2 教育長挨拶

第3 議 事

〔議案〕

第1号 松本市いじめ問題対策調査委員の委嘱について

〔報告〕

第1号 松本市教育文化センタープラネタリウム投映機器賃貸借に係るプロポーザルの選考結果について

第2号 第39回姫路市・松本市中学生交歓キャンプの実施結果について

第3号 「いじめ・体罰等の実態調査」【6・7月分】の結果について

第4号 不登校児童生徒の状況について

第5号 学校事故の状況について

第6号 子ども参観日の実施結果について

第7号 考古博物館の臨時休館について

〔周知事項〕

- 1 第7回学都松本フォーラムの開催について
- 2 UVレジンを使用した科学教室の実施結果について
- 3 JAXA・国立天文台見学ツアーの開催結果について
- 4 小中学校図書館・松本市図書館での防災資料展示について

- 5 生誕130年記念 太田南海展
心・技、光る ～松本の文化を支えた彫刻家～ の開催について
- 6 松本市立博物館の企画展及び講演会の開催について

[その他]

〔出席委員〕

教 育 長	赤 羽 郁 夫
教育長職務代理者	市 川 莊 一
教 育 委 員	花 村 潔
〃	福 島 智 子
〃	山 田 幸 江

〔出席職員〕

教 育 部 長	矢久保 学
教育政策課長	小 林 伸 一
教育文化センター所長	中 村 誠
学 校 教 育 課 長	麻 田 仁 郎
学 校 指 導 課 長	横 田 則 雄
学 校 給 食 課 長	清 澤 秀 幸
生涯学習課長 兼	
中央公民館長	栗 田 正 和
中 央 図 書 館 長	瀧 澤 裕 子
文 化 財 課 長	大 竹 永 明
松本城管理事務所長	手 島 学
美 術 館 副 館 長	小 口 一 夫
博 物 館 長	木 下 守
基幹博物館建設担当課長	中 原 和 彦

〔事務局〕

教育政策課	
教育政策担当係長	金 井 稔
教育政策課	
教育政策担当係長	堀 敬 子

《開会宣言》 午後3時00分

赤羽教育長は平成30年度第5回定例松本市教育委員会の開会を宣言した。

教育長 本日は、移動教育委員会として芳川公民館での開催となります。芳川公民館の方々には大変お世話になりますがよろしく願いいたします。

2学期が始まり1週間ほどたちました。まだまだ暑い日が続いており、熱中症対策で夏休み中に緊急対策等を実施した他に、各学校では工夫した取り組みを進めていただいています。これから運動会や文化祭等が開催される学校も多いため、子どもたちの健康や安全に十分配慮するよう改めて周知を図っていきたいと思っています。

さて、本日の報告事項にもありますが、先日、不登校に関してある新聞にこんな記事が載っていました。この夏、大阪で「登校拒否・不登校問題全国のつどい」が開催されたというものです。

記念講演は、心理臨床家の高垣忠一郎氏の「いのちと自己肯定感とは愛で育つ」という演題でした。その中で高垣さんは、「自己肯定感を育むには比較や評価でなく愛が必要です。子どもたちの心に愛を吹き込みましょう」と訴えたそうです。また、特別講座「登校拒否と発達障害」では、臨床発達心理士の服部ただし氏は「一番大切なことは当事者に情緒の安定した生活を送らせることです。親子喧嘩を減らすように心がけ、問題行動を起こす時以外にもその子と関わるようにしましょう。そして問題が起きていない平穏な時に、温かい気持ちで話し合うことがとても大事です」と述べています。お二人の話に共通するのは、親や周りの大人のあり方が大事だということを改めて感じました。それと同時に、私は既に死語になったと思っていた「登校拒否」という言葉が、まだ生きていることが驚きでした。やはり、不登校と登校拒否は区別しないといけないことなのかと改めて考えさせられました。

2学期、子どもたちが「学校が楽しい」と言って笑顔で登校できることを願っています。

本日の周知事項の中にもありますが、10月22日と23日に開催される「第7回学都松本フォーラム」でも「楽しい学校ってどんなところ？」という語る会が開かれ、みんなが子ども時代に戻って話し合えたらと思います。また、その他にも各課で工夫した取組みが予定されています。今年は旧制松本高等学

校舎の耐震工事のため、Mウイングでの開催になりますがよろしくお願いたします。

今日は、伊佐治こども部長と守屋地域づくり部長は欠席ですので、よろしくお願いたします。

それでは、3分間スピーチ、福島委員、よろしくお願いたします。

福島委員 「子どもとの休みの過ごし方」について3分間スピーチ。

教育長 ありがとうございます。

次回は、花村委員ですので、よろしくお願いたします。

《署名委員の指名》

教育長 本日の会議録署名委員は、市川委員、花村委員です。

《会議録の承認》

教育長 平成30年度第2回・第3回定例教育委員会の会議録の承認についてよろしいですか。

全教育委員 結構です。

《議案審議》

教育長 本日の案件は議案が1件、報告事項が7件、周知事項が6件です。

<議案第1号> 松本市いじめ問題対策調査委員の委嘱について

学校指導課長 議案第1号「松本市いじめ問題対策調査委員の委嘱について」趣旨、委嘱予定者、任期、根拠法令等を説明

教育長 ご質問、ご意見等ございますか。

無いようですので、議案第1号については、承認することとします。

<報告第1号> 松本市教育文化センタープラネタリウム投映機器賃貸借に係るプロポーザルの選考結果について

教育文化センター所長 報告第1号「松本市教育文化センタープラネタリウム投映機器賃貸借に係るプロポーザルの選考結果について」趣旨、経過、選考結果、契約の締

結を説明

教育長 ご質問、ご意見等ございますか。

無いようですので、報告第1号については報告を受けたこととします。

<報告第2号> 第39回姫路市・松本市中学生交歓キャンプの実施結果について

学校教育課長 報告第2号「第39回姫路市・松本市中学生交歓キャンプの実施結果について」趣旨、概要、成果等を説明

教育長 ご質問、ご意見等ございますか。

花村委員 お小遣いはいくらだったのでしょうか。

学校教育課長 6,000円です。

教育長 姫路交歓キャンプは39回ということで長い間続いております、私も以前、参加させていただきましたが、子どもたちは名残惜しむというのか、最後は泣きながら別れるというような光景が毎年見られ、中身の濃い交流だと思っています。

学校教育課の職員にも中学生の頃に行ったという職員がいますし、これが縁で結婚したという方がこれまでに2組あったという話や文通を長くしていたという話も聞いています。

是非、今後も末永く続けていけたらと思っています。

それでは、報告第2号については、報告を受けたことといたします。

<報告第3号> 「いじめ・体罰等の実態調査」【6・7月分】の結果について

学校指導課長 報告第3号「「いじめ・体罰等の実態調査」【6・7月分】の結果について」趣旨、調査方法、調査結果の概要、傾向、今後の対応を説明

教育長 ご質問、ご意見等ございますか。

花村委員 4の傾向（6）に「中学校では、授業中の発言に対する不快な反応や、言い争いがありました。」とありますが、こういった場合、担当の先生はどんな指導されるのですか。

学校指導課長 「相手が嫌な思いをしているからやめなさい」と必ず注意すると思います。

このケースは児童会の選挙に立候補しましたが、普段の生活態度が良くないため、みんなに批判を浴び、へこんでしまったというものです。それを本人が

嫌だと感じたために数値として上がってきています。

こういった小さなことでもいじめにつながる可能性もあるため、学校では相談に乗っていく体制をとっているということでした。

花村委員 ありがとうございます。

市川委員 このいじめ調査は、学校ごとに統計を取り、この学校はいじめが多い等、傾向を見たりするのでしょうか。

学校指導課長 各学校から報告が上がってまいりますので、どこの学校が多い、少ないということは分かります。見ていると報告が沢山上がってきている学校はどんどん解消されていく傾向がありますが、この学校の規模で1件も報告が上がってこないという学校もありますので心配をしています。

市川委員 それと一緒に不登校との関連性も出てきていますか。

学校指導課長 一概にそれを不登校と結びつけては考えておりません。

市川委員 分かりました。

教育長 他に、いかがですか。

山田委員どうぞ。

山田委員 4傾向の(6)に「小学校では自分の物を勝手にとられる、いじられる」、「ランドセルに砂を入れられる」とあります。こういった事案について、その後の経過は調べているのでしょうか。

学校指導課長 はい。各学校の報告書には件数とともにコメント欄にその後の経過を記入してもらい、不登校支援アドバイザーや担当の指導主事が全て読んでおります。今回は、「物を勝手にとられる、いじられる」といった件数については多く報告がありませんでしたが、「ランドセルに砂や小石や葉っぱを入れられた」という報告が2件程、また、「歩きながら水筒のお茶を飲まれた」、「文房具を勝手に使われた」等細かな報告もありました。

心配だと思うものについては、学校に「この件はその後どうなりましたか」と確認しており、3カ月間様子を見て、同じような状況がない、あるいは本人が嫌な思いをしていないという基準で解消されていきます。ですので、最低でも3カ月間は経過を見るということになっております。

また、「緊急なコメント」と思われるものは、必ず担当指導主事から報告があるため、6・7月に関しては大きな問題はないと思っています。

山田委員 なぜ、こんなことを聞くかというのと、やっている方は大して感じないかもしれませんが、「ランドセルの中にごみを入れられる」、あるいは「靴を隠される」というものは、やられている方は意外と心の中がすごく傷ついていて、「誰かに言いたいけれど言えない」ということもあるため、そういった所は学校でしっかり見ていかないと大きないじめにつながる気がします。ですので、こういった報告は特にしっかり事実確認をし、その後もどうなったのか確認してもらえるといいと思いました。

教育長 他にご意見等ありますか。

学校では、2学期となり席替えが行われることによって新たな人間関係が発生し、1学期とは違った関係となることで新たに発生することもあります。学期ごとに席替えをやる学校が多いのですが、席替えをとおして人間関係を作っていくということも学びます。その中で、嫌な思いをすることもあるため、小さな出来事を教員の側がまずきちっと把握して、子どもたちの人間関係を丁寧に見ていくことも大事です。子どもたちが安心して暮らせる、学校生活を送れる、そんなことをまたぜひ校長会等でもお願いをしていきたいと思っています。

それから、これからまた運動会や文化祭等の行事が沢山予定されておりますが、行事の中でも新たな人間関係が生まれてきます。行事等では教室とは違ってなかなか目が届かない部分がありますので人間関係にもぜひ目を向けるように学校指導課長からもぜひ伝えていただけたらと思います。

はい。福島委員、どうぞ。

福島委員 この報告には上がってきていない、他の部署、例えば「こころの鈴」等の他機関で把握している事例というのはあるのでしょうか。

学校指導課長 今回、他機関というところまではデータがありませんのですぐにお答えできませんが、学校指導課で受けた4月から8月まで分析した中では、「子どもが嫌なことをされていますが、どうしたらいいですか」という匿名のものが1件。また、「これはあきらかに意地悪をされている」というものが1件ございました。しかし、この1件は学校名が不明なため認知件数の244件に含まれているかどうかは学校が確認できないため不明です。

福島委員さんがご質問された他部署のものが含まれているかどうかはお答え

出来ませんが、少なくとも学校指導課への電話は多くはなかったものですから、学校で認知している244件でほぼ網羅されているのかなと思っています。

福島委員 ありがとうございます。

教育長 よろしいですか。

 その他意見等はないようですので、報告第3号については報告を受けたことといたします。

<報告第4号> 不登校児童生徒の状況について

学校指導課長 「不登校児童生徒の状況について」、趣旨、不登校児童生徒の状況、学校指導課不登校支援アドバイザーの学校訪問支援の状況、中間教室の状況、傾向、今後の対応を説明

教育長 ご質問、ご意見等ございますか。

 花村委員どうぞ。

花村委員 3（3）の面談相手ですが、児童生徒のところが29年度から急激に増加しています。この理由は何でしょうか。何か方針が変わったのでしょうか。

学校指導課長 不登校支援アドバイザーが交代し、方針が変わりました。

 担当者が変わり、より積極的に家庭訪問をしております。

 教員だった際に在籍していた児童も何人も含まれていることや個人的な繋がりもあり積極的に面談を進めております。

教育長 はい、市川委員どうぞ。

市川委員 不登校支援アドバイザーや指導主事と一緒に学校訪問をさせてもらっておりますが、いつも感じていることは、現場では「こんなに一生懸命頑張ってやっている」ということです。私からして見ると、「もっと分かってよ、家の人たち」という感じがしてなりません。ですので、もっと一般の家庭や親御さんたちにアピールすればいいのにと思うのです。そうすれば、各家庭の親たちの感覚や気持ちも変わってくるのではないかと感じました。学校訪問での先生方の姿を見ていると非常に感動しますので、外にもっと伝えて欲しいという気がしてなりません。そこはどうお考えですか。

学校指導課長 ありがとうございます。児童生徒さん自身の気持ちがなかなか家から外に向かないというお子さんもいますし、親御さんがうまく背中を押せないという家

庭もあります。そういったところに、横林不登校支援アドバイザーがうまく関わりコミュニケーションが取れるようになることで「先生がそこまで言うてくれるのなら是非お願いします」という形になっていきます。個人的には横林不登校アドバイザーに感謝はあると思いますが、「学校に来れるようになった」ということは伝わってきません。しかし、校長会や学校に配置している自立支援教員の皆さん方の会合でそういったエピソードの報告が沢山ありますので、そういったエピソードに力を得て、「自分ももう少し心折れずに保護者に関わろう」、「もっと学校でこういうことを話題にしていこう」等という形で徐々に広まりつつありますので、こんな変化がありましたというアピールは積極的にしていこうと思っております。

教育長 それは、今後の対応の（６）にあるような自立支援教員の報告会ですとか研修会でぜひ生かしていく、そこが一番大きいかもしれませんね。いろいろなケースがあるため、それを是非生かして、アピールというよりも生かして繋げていくことが大事だと思います。

他にご意見等ありますか。

では、福島委員、どうぞ。

福島委員 19ページの2の表の確認ですが、先ほど「I S Nに20名行っている」という報告がありました。平成30年7月は67名から20名を引いた数が小学校の不登校の子どもの数という理解でよろしいでしょうか。

学校指導課長 そうです。20を引いた数が実質的な不登校となります。

福島委員 そうしますと、平成29年度7月の55という数字の中にもI S Nの子どもが入っているということよろしいですか。

学校指導課長 そのとおりです。

福島委員 それから、平成28年度から30年度までの数字を報告していただいています。その年度の全校生徒の数はそれほど変動がないと見ていいのですか。数字の多い少ないを見るときは、この母数がどうなっているのかということが分からないと一概に増えたとか減ったとも言えないと思いますので、今後は、分かるように示していただけるとありがたいです。

学校指導課長 分かりました。今後は、そのようにします。

教育長 他にご意見等ありますか。

山田委員どうぞ。

山田委員 3（3）の面談相手ですが、先程、市川委員さんの話と関連するかもしれませんが、私も今年は10校程度、学校訪問をさせていただきました。その際、学校の先生とお話をする中で、「やはり親の対応が・・・」という家庭が多くあります。学校が不登校支援アドバイザーと保護者が面談できるよう背中を押してもらえるようなことをしてもらえるといいのかなと思います。というのは、私は今、定期的に「はぐルッポ」に行っており、ですが、「はぐルッポ」に来るお母さん方は物すごく明るくて、よくしゃべるお母さん多いです。ですので、もしかしたら話をしたいのではないかという気がします。

学校の方で背中を押してもらえると、もう少し保護者との面談が増えるのではないかという気がしました。

学校指導課長 ありがとうございます。お家の方はお忙しく、面談自体に前向きになれないというところもありますが、そんな中でもいろいろなチャンスを捉えて面談をしています。

先日も「ほんのちょっとの時間だけど会えそうだから行ってくる」ということがありました。また、子どもさんに声を掛けるついでにお母さんと玄関で立ち話をする等、わずかな時間でも接触ができるよう試みています。

学校でそういった機会を促していただければさらに機会は増えると思いますので、学校に働きかけていきたいと思います。

教育長 私も担任時代、一月に1回ぐらいお母さんが子どものことで相談に来て、「先生そろそろ元気がなくなってきました」と言って話をし、「また一月ぐらい頑張れそうです」と帰っていく保護者がいました。

話したいときに話せる状況を作っていくこと。身近な方たちや保護者同士、例えば、学級懇談が終わった後でもいいと思います。保護者同士の力はすごく大きなもので、先輩のお母さんに悩みを聞いてもらえることもあり、いろいろな機会に話せるということがすごく保護者支援には大事なことだと思っています。

はい。市川委員、どうぞ。

市川委員 不登校の原因は、「ほとんど家庭」という気がしてなりません。そうすると、子どもよりも家庭と思うのですが、先生方や不登校支援アドバイザーは家庭の

中まで入って行くことは出来ません。

本当は、会社のトップが社員と話しをする際に家庭まで踏み込んで話をしていくとかすればいいと思いますが、なかなかこれも大変な問題だと思っています。

家庭までは入れません…という感じをいつも受けてしまいます。

教育長

ただ、私が教員時代にお母さんたちにいつも言っていたことは、「子育ては思うようにいかない」ということです。このことを前提に置かないと苦しんでしまいます。上手くなんかいかない、上手くいかないことをみんなで共有し合うことがすごく大事なことだと思います。私も子どもがいますが、思い返せばやはり思うようにいかなかったと感じています。きっと「思うようにいった」という方は数人で、ほとんどの方は「思うようにいかなかった」と思っているのではないのでしょうか。「親の思うように子どもが育ちました」といったら、その子は逆に心配で、親がいなくなったら生きていけない子どもになってしまいます。「親なんかいなくたって俺は大丈夫」と言うぐらいの子どもの方が、私は子育て大成功だと思います。

ですので、私たちが学校側に「うまくいかないというのが当たり前ですよ」というスタンスを伝えていくことが、保護者の方々の安心感につながるのではないかと私はそういうつもりでやっていました。

それでは、他にご意見等無いようですので、報告第4号については報告を受けたことといたします。

<報告第5号> 学校事故の状況について

学校指導課長 「学校事故の状況について」趣旨、月別件数、月別・種類別報告件数、内容、今後の対応を説明

教育長 ご意見、ご質問等ございますか。

はい。花村委員。

花村委員 3の月別・種類別報告件数で、病気について小学校と中学校の差は部活の関係でしょうか。

特に7月に入り熱中症が多く報告されておりますが、そういったことはどうでしょうか。

学校指導課長 熱中症は中学校で多く報告されております。中には職場体験に出かけ、その先でというものもありました。また、冷房機能がない所で一生懸命働いたため具合が悪くなったというのもありました。

花村委員 小中学校の差は、何かあるのでしょうか。

学校指導課長 病気に関わってはそうですし、ケガは中学生は圧倒的に部活時が多く、小学生は遊んでいて等が多く報告をされていきました。

花村委員 その他で「自宅への不法侵入」とありますが、どのようなのでしょうか。

学校指導課長 これは被害の方です。自宅への不法侵入ですので被害に遭ったということで報告がありました。これは警察が出動する案件になっておりましたが、一応子どもが関わっていたため、丁寧に報告があったものです。早朝に何かトラブルを抱えていた御近所の方が家に無断で入って来たため、みんなで奥の間に逃げたという事案です。

花村委員 わかりました。

教育長 他にご意見等無いようですので、報告第5号については報告を受けたことといたします。

<報告第6号> 子ども参観日の実施結果について

生涯学習課長 「子ども参観日の実施結果について」説明

教育長 感想等ございますでしょうか。

無いようですので、報告第6号については報告を受けたことといたします。

<報告第7号> 考古博物館の臨時休館について

博物館長 「考古博物館の臨時休館について」説明

教育長 この件については、よろしいでしょうか。

それでは、報告第7号は報告を受けたことといたします。

<周知事項1> 第7回学都松本フォーラムの開催について

<周知事項2> UVレジンを使用した科学教室の実施結果について

<周知事項3> JAXA・国立天文台見学ツアーの開催結果について

<周知事項4> 小中学校図書館・松本市図書館での防災資料展示について

<周知事項5> 生誕130年記念 太田南海展

心・技、光る ～松本の文化を支えた彫刻家～ の開催について

<周知事項6> 松本市立博物館の企画展及び講演会の開催について

教育長 以上で周知事項は終わりますが、補足等ありましたらお願いします。

美術館副館長 周知事項5の「生誕130年記念 太田南海展」についてです。4関連プログラム(3)の「みんなで楽しく、トークフリーデー」は美術館として今回初めて開催いたします。これは、社会教育委員から「そういう場を設けたらどうか」というご提案をいただいて企画したものです。通常、美術館は静かに見ていただくという形で監視の方もお願いしている場所ですが、「気兼ねなくお話をしながら作品を見てもらえたら」という、初めての試みになりますので、よろしくをお願いします。

教育長 他にありますか。

それでは、予定されていた案件は以上です。その他案件に関連して何かございますか。

それでは、事務局からお願いします。

事務局 9月20日、木曜日は研究会ですが、並柳小学校への学校訪問となります。

22、23日は学都松本講座フォーラムをMウイングで開催します。27日は、15時から定例教育委員会の開催となりますので、よろしく願いいたします。

教育長 以上で第5回定例教育委員会を終了いたします。

《閉会宣言》

赤羽教育長は、平成30年度第5回松本市教育委員会を閉じる旨宣言した。

<午後5時18分閉会>

会議録調製職員

教育政策課教育政策担当係長

堀 敬子

会 議 録 署 名 委 員

市川 莊一

花村 潔